

# ごあいさつ

皆さまには、日頃より大光銀行グループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、2022年度中間期の決算状況や財務の状況などをまとめた中間期ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえ、当行に対する理解を一層深めていただければ幸いです。

さて、地域金融機関を取り巻く経営環境は、人口減少や少子高齢化の進展に加え、業種を超えた競合の激化など、一段と厳しさを増しております。また、新型コロナウイルス感染症の長期化、さらには、ウクライナ情勢や円安に起因する原材料・エネルギー価格の高騰など、地域社会・経済が深刻な影響を受けるなか、地域金融機関は金融仲介業から総合サービス業への転換が求められています。

こうした諸課題に対処し、当行が地域金融機関として持続的に存在価値を高めていくためには、10年先、20年先の未来に亘って地域社会・経済の活性化に責任を持ち、地域やお客さまからの期待に対し、適切に応えていかなければならないと考えております。

このような考え方のもとで、当行は、2022年度で2年目となる第12次中期経営計画「Change for the Future～未来志向の究極のChange～」を着実に実践し、長期ビジョンの実現に向けたファイナルステージとして、また、次の10年につなげるステージとして、4つの改革（収益構造・コスト改革、ソリューション改革、業務運営改革、組織・人材改革）を成し遂げ、強固な経営体質を築き上げてまいります。

2022年5月には、SBIグループと戦略的資本業務提携に関する合意書を締結し、順次、新たなサービスの取扱いを開始しております。引き続き、オープン・イノベーションを促進し、地元企業の生産性向上と地域のお客さまの資産形成を強力に支援することで、地方創生および持続可能な社会の実現に貢献するべく取組みを進めてまいります。

併せて、お客さまから信頼いただき、安心してご利用いただくため、コンプライアンスの徹底やリスク管理の高度化に引き続き取り組んでまいります。

当行は、こうした取組みにより、地域に根差した金融機関としての社会的責任と公共的使命を果たしてまいります。皆さまにおかれましては、引き続き倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2023年1月

取締役頭取

石田幸雄

## たいこうの「地域密着宣言」

私たちは、お客さまの身近なアドバイザーとして、

- ・「お客さま目線」で、全力で考えます。 ・お客さまからのご相談に素早くお応えします。
- ・お客さまに新鮮な気付きをお届けします。 ・お客さま一人ひとりに、いつも笑顔で心を込めて接します。

## CONTENTS

2022年度中間決算ダイジェスト（単体）	1
地域活性化に向けた取組み	2
事業の概況（連結）	5
中間連結財務諸表	6
事業の概況（単体）	13
中間財務諸表	14
損益の状況（単体）	19
預金業務（単体）	21
融資業務（単体）	22
証券業務（単体）	27
有価証券の時価等情報（単体）	29
デリバティブ取引情報	30
経営効率（単体）	31
自己資本の充実の状況	32
役員	43
大株主一覧等	44
開示項目一覧	45

## PROFILE

本店所在地	新潟県長岡市大手通一丁目5番地6
創立	1942（昭和17）年3月
総資産	1兆6,681億円
預金	1兆4,627億円
貸出金	1兆1,067億円
資本金	100億円
従業員数	835人（うち出向者23人）
店舗数	71店舗
	新潟県内 62
	新潟県外 8
	インターネット支店 1
	（2022年9月30日現在）

●本冊子は銀行法第21条に基づいて作成した中間ディスクロージャー資料（業務及び財産の状況に関する説明書類）です。

●本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切捨てのうえ表示しております。また、前年同期比の計数は、グラフ上または表上の数値による計算結果を表示しております。